

団体名	NPO 法人坂越のまち並みを創る会	活動名	坂越まち並み館の展示リニューアルプロジェクト
-----	-------------------	-----	------------------------

1 活動の実施内容

① 実施場所 (地域) 赤穂市坂越	② 実施期間 自 令7年 6月21日 至 令7年 10月25日
③ 実施体制 ・団体構成員 15名 ・一般参加者 50名 ・ボランティア 3名 ・連携大学生 7名 ・外部専門家 1名 計 76名	
④ 活動実績 (実行委員会や準備作業の活動実施等の主な実施日、内容をご記入ください。)	
<p>6/21(土) 「坂越を知る」レクチャー @坂越公民館. (23名?参加) 午前：文化財課荒木さんによる北前船や坂越の歴史に関する講義を行いました。 NPO 会員のほか、坂越のボランティアガイド、まち並み館の案内員、関西福祉大学学生、一般の方などが参加し、坂越地区に対する理解を深めました。 午後：荒木さん案内のもと、坂越地区内のフィールドワークを行いました。歴史的な背景、文化財、ビュースポット等、解説を交えながら散策。参加した地域の住民と外部からの参加者が意見を交換しながら歩きました。</p> <p>6/28(土) 専門家を招いたフィールドワーク @坂越地区内 (11名参加) 2グループに分かれ、21日の下歩きをもとに作成したルートマップをもとに地区内を歩き、各自魅力的だと感じたポイントを撮影してもらいました。午後からは、各自「まちなみ館の案内人になったつもりで、観光客にお勧めするとしたら？」という視点でおすすめベスト3を選び、理由とともに発表しました。</p> <p>7/5(土) 第一回編集ワークショップ @坂越まちなみ館2階 前回のおすすめスポットをキーワードで分類しました。(ex,癒し、自然、人との出会いなど)そこから、今回の展示内容を決定する上で判断軸となる展示のコンセプト案をいくつか挙げて議論し、ひとつのコンセプトに絞りました。 コンセプト「いやしへの扉を開く場所」</p> <p>7/12(土) 第二回編集ワークショップ @坂越まちなみ館2階 2グループに分かれ、大きく印刷した館内の間取り図を前に、決めたコンセプトを軸に、坂越の魅力を「何を」「どの順番で」「どこに」展示するか、優先順位と配置を決めました。その中で、どの要素を展示で優先するか、展示に入れず、今後パンフやデジタルで補うか、情報整理を行いました。ワークショップ最後にはそれぞれのグループから展示計画案を発表しました。</p> <p>～10/3(金) 専門家(編集者・建築家)によってワークショップで出た案を具体計画に落とし込む作業を行いました。地域内の作り手との連携を伴うデザインや、見積もりをとり予算内に収まる計画へとまとめました。同時に、まちなみ館のロゴデザインなどビジュアル計画を進めました。</p>	

た。

10/4(土)第一回制作ワークショップ @坂越まちなみ館 2階

コンセプトを反映した空間計画に基づき、既存展示物の片付けや館内掃除、天井から吊るす布の制作に取り掛かりました。

～10/17(金)

館内モニターで流す風景映像のためのドローン撮影、金庫内シアタールームで投影する坂越のキーマン取材したインタビュー動画の撮影および編集を行いました。

10/18(土)第二回制作ワークショップ @坂越まちなみ館 2階

天井・壁面に吊るす布の制作や取り付け作業を行いました。

～10/24(金)室内片付け・展示設営期間

ひきつづき、NPOメンバーで展示設営作業を行いました。

10/25(土)お披露目イベント「風まちの風びらき」・館内展示案内 @坂越まちなみ館 2階

坂越湾沿岸で、海時間をたのしむための椅子組み立てワークショップ、珈琲の振る舞い、仮設東屋での休憩所、坂越の美容院keshikiの店主による抹茶野点の体験などのコンテンツを展開し、海での過ごし方の拡張を目的とした実験的なイベントを行いました。また、展示リニューアルの過程を記録したリーフレットを配布し、イベントに訪れた方々への説明と、まちなみ館への引き込みを行いました。まち並み館でもスタッフがリーフレットを配布し、来場者にこれまでの歩みと展示説明を行いました。



13:00～椅子組み立てワークショップ / 13:00～珈琲屋台・15:30～抹茶野点

主催：NPO法人坂越まちづくりセンター
協賛：坂越まちなみ館、NPO法人まち並み館
協力：keshiki、SAGA inc.
会場：まちなみ館





2 活動実施の成果と今後の課題

① 活動実施の成果

-活動参加者は20代～70代といった多世代で構成され、かつ、地域住民、市内学生、市外からの専門家と幅広くから集まり意見交換をしたことで、地域に対する視点や興味の違いが浮き彫りになり、坂越の魅力発掘に新たな目線で取り組めた。

-組織または一部専門家が独断で決定するのではなく、さまざまな人物構成による多様な意見をワークショップ形式で組み上げひとつにまとめる形式をとることで、来街者目線に立った情報編集を行うことができた。

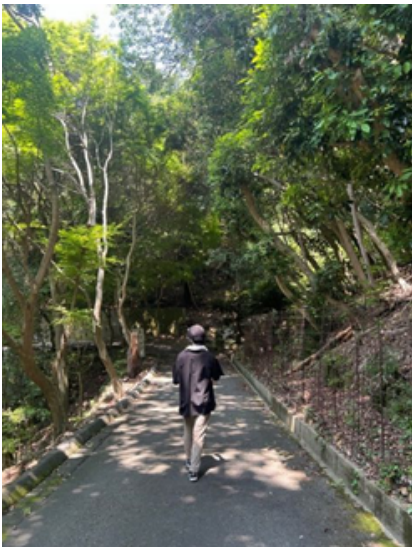
-長年着手していなかった館内の展示物や情報を整理する機会を得たことで、坂越の観光案内所として伝えるべき地域の魅力を整理し、観光客に対して伝わりやすい情報展示へと改変できた。



② 今後の課題

- スタッフのマンパワー不足により、実務に取り掛かる時間の確保に苦勞した。体制強化を図りたい。
- 館内展示の順路がわかりにくいため、サイン掲示の必要がある。
- 展示物(銀行時代のハンコ等)を見やすく展示できるよう、什器の改変に取り掛かる必要がある。
- 現状、以前1階で展示していた物品はまちなみ館2階に集約している。1階展示空間との差別化を図りつつ、今年度は2階展示空間の整備に取り掛かりたいと考えている。

3 実施活動の写真

	写真のコメント
	フィールドワークの様子 <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>第一回編集ワークショップの様子</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
	<p>写真のコメント</p> <hr/> <p>編第二回集ワークショップの様子</p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

4 参考資料を自由に添付してください。

※ 用紙が不足する場合は、欄の大きさを変えるか用紙を追加してください。
(ただし、別紙4全体で、用紙A 4サイズで5枚以内としてください。)